

2022年度 研修会総会 および

2023年度 関東倶楽部対抗競技 選手選考会 議事録

1. 開催日 2022年12月4日(日) pm2:00~pm4:30

2. 場所 栗橋国際カントリー倶楽部 3Fレストラン

3. 出席者 会長 石井 宏

副会長 木戸 外司

役員 坂根 英一 日下部 武一 吉高神 佐俊

上本 正之 森山 保豊

顧問 小川 博人

会員 北方 慎治 清友 邦彦 伏見 卓洋 千葉 康

木村 健 上堂 蘭 四男 高橋 儀友 杉山 直樹

以上16名出席 事務局 長南 安田 長谷川

4. 事務局より開会を宣言し、石井会長挨拶の後、議案審議に入った。

5. 第1号議案 2022年度研修会収支報告について

坂根英一会計監査が監査を行い、2022年度収支が適正に執行されていたことを報告した。

今年度の収入は、登録料、罰金、利息合わせて407,007円、支出はユニフォーム代、倶楽部対抗練習ラウンド補助費合わせて238,107円であり、今年度収支は168,900円の黒字であった。

前年度からの繰越金 718,703 円と合わせて、次年度への繰越金は 887,603 円となった。

今回から作成することになった 2023 年度予算案について審議した。

収入は登録料、罰金、繰越額合わせて 1,273,603 円の見込みで、支出はユニフォーム代 90,000 円、練習ラウンド補助 200,000 円、選考会補助 150,000 円、ブレザー作製代 378,000 円、ブレザー用ワッペン作製代 108,000 円、研修会強化費として 110,000 円を合わせて 1,266,000 円の見込みとなった。

6. 第2号議案 2023年度研修会役員について

山口智紹会計監査が亡くなられたことにより、新たに日下部 武一が会計監査に就任した。

7. 第3号議案 2023年度活動方針について

次年度も研修会の円滑な運営を実現し、倶楽部対抗競技での成績向上を目標とした。

8. 第4号議案 2023年度倶楽部対抗競技について

今年度の倶楽部対抗競技の結果により、来年度は5月18日(木)に茨城第3会場のカントリークラブ・ザ レイクスで予選、6月13日(火)にフォレストカントリー倶楽部（新潟県）で決勝が開催されることを報告した。

9. 第5号議案 倶楽部対抗競技選手選出について

(1) 選手の選出について

規定により10名を選出するが、総会後の12月水曜杯終了時点をもって今年度の順位が確定するため、順位確定後に上位10名に事務局から直接報告することとした。

また、倶楽部対抗競技当日に必ず出席できることを条件とした。

12月水曜杯終了後に以下の10名に決定した。

上本 正之 伏見 卓洋 富岡 政男 吉高神 佐俊 高橋 儀友
酒井 博昭 森山 保豊 上堂 蘭 四男 木村 健 北方 慎治

(2) 練習ラウンドについて

研修会からの練習ラウンド補助費として平日5,000円、土日15,000円とし回数に制限はなく1名につき上限20,000円とした。

選手選考会補助費として1名につき平日5,000円、土日10,000円を支給することとした。

選手選考会の日程は、4月中の火曜日と日曜日でそれぞれ1日ずつ行うこととし、日程については幹事役員が決めることとした。

10. その他

グロスポイントの基準が、バントグリーン時とコーライグリーン時で同じなのは不平等ではないかとの意見があり審議したが、多数決の結果、現状の基準を維持することとした。

罰金の基準について、現状バントグリーン時とコーライグリーン時で5打の差があるが、コース

レート^の差の通り 2 打の差が^が適当ではないかとの意見が出されたが、多数決の結果、現状の基準を維持することとした。

研修会強化費として、月例会と水曜杯開催日の追加プレイに対して 500 円を研修会から、年 10 回を上限として補助することが決まった。また、補助費の支給は、数か月分を後日まとめて支払うこととした。

以上をもって、木戸副会長挨拶の後、研修会総会および選手選考会を終了した。